

結果をイメージした自己決定

—生活科「おいしいジュースをつくろう」の実践から—

藤村佳令

1 イメージすることと決定することについて

児童が何かを決定していく過程には、結果をイメージした思考があると考えられる。自分にとって望ましい結果を導くためには、今をどのように決定したらよいのか。児童はそれまでの経験の全てを想起し、最良の結果を予想して決定しようとするであろう。児童にとって、結果が重視される内容であればあるほど、決定に対する思い入れは大きくなり、深く思考するとともに、能動的な決定ができるものと期待する。

児童の能動的な決定を導くためには、児童がいかに結果に対するイメージを、明確にもつことができるかが重要になってくる。結果をイメージすることができなければ、決定する場をいかに設けようとも、児童は能動的な決定をすることはできない。児童が見通しをもち、結果についてのイメージをもつことができはじめて、児童は自ら自己決定することができる。そのような自己決定できる学習の場を、指導者は工夫し、準備する必要がある。

児童の好きな活動の一つに、調理活動がある。調理活動は、材料を調理することにより、全く違う形の食べ物（結果）をつくり出す活動である。活動を始めるにあたっては、材料の準備が必要であり、活動の過程においては、調理の手順に従って学習を進めることが必要である。したがって調理活動には、見通す力と、これを作りたいという結果に対するイメージを明確にもっておくことが必要となってくる。おいしかったという経験が、作りたいものの決定と、必要な材料の選択にもつながってくるであろう。調理活動は、食べ物を作るという児童にとって大変魅力的な活動でもあり、能動的な決定を期待するには適した学習の一つであるといえる。

2 指導事例「おいしいジュースをつくろう」

(1) 単元について

自分の好みに気づくということは、新たな自己発見であると同時に、生活に張りを与えるものである。好みが増えることにより、探求心が旺盛になり、喜びが増し、生活が豊かになっていく。自分の好みの実現のためには、行動力と、多くの課題を解決し先に進んでいくための決定する力が求められる。好みを実現していこうとすることで、自立に向けての力を養っていくとともに、生活の質を高めていくことができるものと考えられる。

本単元では、ジュース作りによる自分の好みの発見を通して、多くの選択肢の中からいくつかを決定し、実現していく力を養っていきたいと考えている。また、結果をイメージしながら、今を選択していくことができる力も養っていきたい。

(2) 自己決定に関わる児童の実態と課題

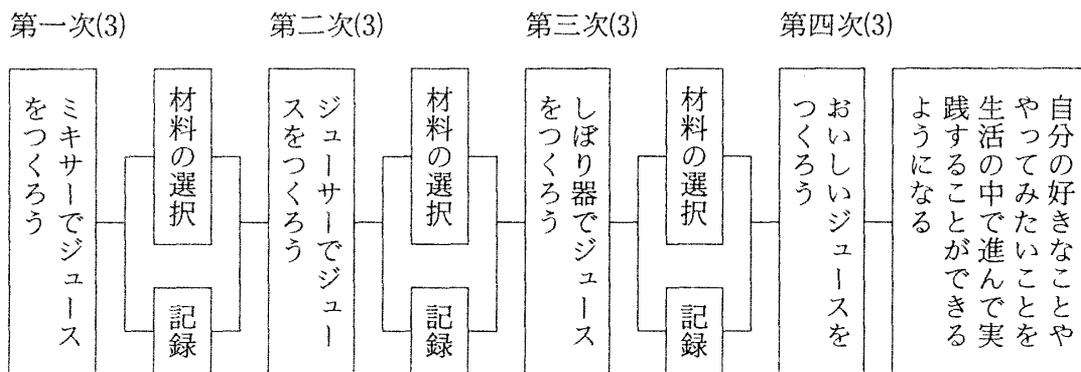
児童	実 態	課 題
④	学習や活動をイメージして、2者以上の中からしたいことを表す。	結果をイメージして、たくさんある物の中から必要な物だけを選択できるようになる。

⑤	学習や活動場面で、具体的な2者以上の中からしたいことを選ぶ。	自分の好みを考えて、具体的な2～3個の物の中から1個だけを選択できるようになる。
⑥	学習や活動をイメージして、2者以上の中からしたいことを表す。	結果をイメージして、たくさんある物の中から必要な物だけを選択できるようになる。
⑦	学習や活動場面で、具体的な2者以上の中からしたいことを選ぶ。	好みに応じて、たくさんある具体物の中から必要な物だけを選択できるようになる。
⑧	学習や活動場面で、具体的な2者以上の中からしたいことを選ぶ。	好みに応じて、たくさんある物の中から必要な物だけを選択できるようになる。
⑨	自分の日常的な生活の中で、具体的な物や活動を2者の中から選ぶ。	自分の好みを考えて、具体的な2～3個の物の中から1個だけを選択できるようになる。

(3) 指導目標

- ① ジュースを作るための材料がわかり、材料を選択することができるようにする。
- ② ジュースの作り方によるできあがりの違いがわかり、道具を選択することができるようにする。
- ③ ジュースのできあがりイメージして、材料や作り方を選択することができるようにする。

(4) 指導内容と計画

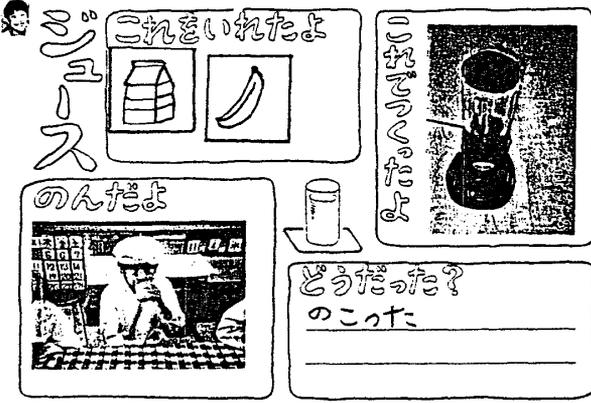
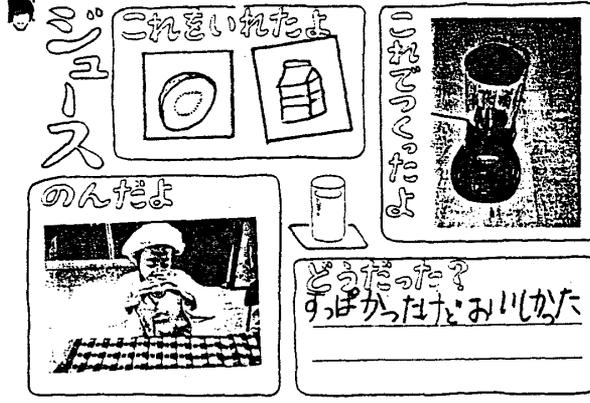
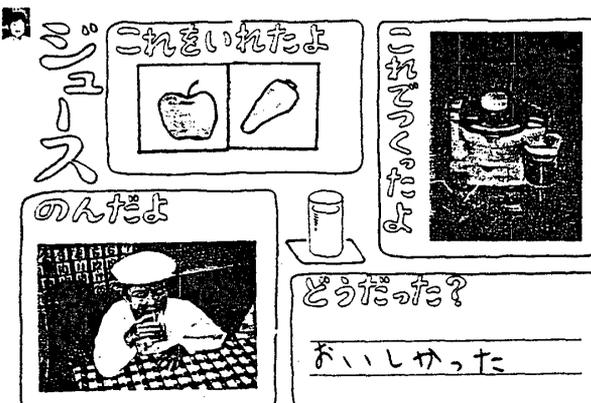
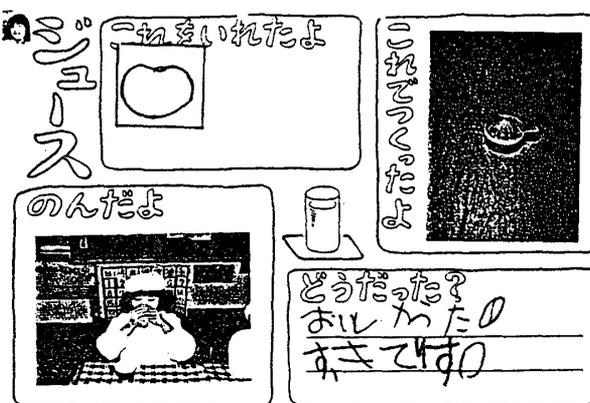


第一次～第三次で、ジュースの作り方についての学習を深めた。ジュースをつくるための道具を変えることにより、できあがるジュースに違いができることや、道具により材料となる果物が限定されることを学習した。この学習で、作ったジュースは次の通りである。

ジュース名	道具	材料
バナナジュース キウイジュース ももジュース パイナップルジュース	ミキサー	バナナ+牛乳 キウイ+牛乳 桃(缶詰) パイナップル(缶詰)

リンゴジュース リンゴとニンジンジュース	ジューサー	リンゴ リンゴ+ニンジン
みかんジュース グレープフルーツジュース	しぼり器	みかん グレープフルーツ

またこの時、「ジュースニュース」を作成し、第四次でジュースを作る際の視覚的資料とした。

(5) 指導の実際

① 本時（第四次 第1時）の目標

飲んでみたいジュースができあがることをイメージして、作り方や材料を選択することができる。

② 授業仮説

これまでのジュース作りを想起できるような視覚的資料を提示するならば、飲んでみたいジュースを作るための作り方や材料を選択することができるであろう。

③ 目標行動と教師の支援

目 標 行 動	教 師 の 支 援	児 童
好みのジュースを作るための材料を選択できる。	<ul style="list-style-type: none"> 前時までのジュース作りの記録を提示する。 材料の選択で具体物を提示する。 	⑨

好みのジュースを作るための作り方を 選択できる。	・前時までのジュース作りの記録を提示する。 ・作り方の選択によるできあがりの違いに触れる。	⑤
好みのジュースを作るための材料と 作り方を 選択できる。	・材料の選択で具体物，半具体物を提示する。 ・作り方の選択によるできあがりの違いに触れる。	⑦ ⑧
ジュースのできあがりをイメージして 材料と作り方を 選択できる。	・ジュース作りのイメージをもつ段階で，どんな ジュースにしたいのか尋ねる。	④ ⑥

④ 準備

ジュースの材料，写真，ミキサー，ジューサー，しぼり器，コップ，トレイ

⑤ 学習の展開

学 習 過 程	予想される活動	教 師 の 働 き かけ	
		全 体	個 別
1 1 2 3 4 1 2 3 4	<p>○前時までの経験をもとにジュース作りに期待感を持つであろう。 (全児)</p> <p>○好みのジュースにするためのイメージを持つであろう。 (児④⑥⑦⑧)</p> <p>○飲んでみたいジュースのイメージを持つことが難しいと思われる。 (児⑤⑨)</p> <p>○ジューサー，ミキサー，しぼり器でジュースのできあがり方に違いがあることがわかるであろう。(児④⑥⑦⑧)</p> <p>○ジューサー，ミキサー，しぼり器の使い分けをすることが難しいと思われる。(児⑤⑨)</p> <p>○ジュースのイメージから材料を選ぶである</p>	<p>1・学習の始まりとして位置づける。</p> <p>2・ジュース作りに期待感がもてるようにする。</p> <p>・作り方や材料を選択して，飲んでみたいジュースを作るよう告げる。</p> <p>3・ジュースの作り方が3種類あることを確認する。</p> <p>◎好みに応じて，ジューサー，ミキサー，しぼり器の中から道具を選ぶよう言葉かけをする。</p> <p>4・課題に応じて，具体物又は半具体物を提示す</p>	<p>1・本日の当番児童に，意識づける。</p> <p>2・前時までの記録を提示し，これまでの活動が想起できるようにする。</p> <p>・児④⑥⑦⑧には，作ろうとするジュースのイメージが膨らむような言葉かけをする。</p> <p>・児⑤⑨には，前時までの経験から好きだったジュースを確認する。</p> <p>3◎児④⑥⑦⑧には，選択した材料を使ってどんなジュースにしたいか問いかけ，道具を選択するようにする。</p> <p>◎児⑤⑨には，道具によるジュースのできあがりの違いを確認し，選択するようにする。</p> <p>4◎児④⑥⑧には，材料の写真を提示しその中から</p>

	<p>う。 (児④⑥)</p> <p>○材料に対するイメージをもっているであろう。 (児⑧)</p> <p>○材料を見ることによりジュースがイメージできるであろう。 (児⑤⑦⑨)</p>	<p>る。</p> <p>◎ジュースにして飲んでみたい材料を選ぶよう言葉かけをする。</p>	<p>選択するようにする。</p> <p>◎児⑤⑦⑨には、材料の実物を提示し、その中から選択できるようにする。</p>
<p>5</p> <p>ジュースを飲む</p>	<p>○選択した材料や作り方を覚えているであろう。 (全児)</p> <p>○ジュースの感想を言うことが難しいと思われる。 (児⑤⑨)</p>	<p>5・作り方や材料の選択ジュースの感想を聞くことにより、振りかえりとする。</p>	<p>5・児④⑥⑦⑧には、次回への思いを尋ねる。</p> <p>・児⑤⑨には、指導者が児童の思いを代弁する。</p>
<p>6</p> <p>終わりのあいさつをする</p>		<p>6・学習の終わりとして位置づける。</p>	<p>6・本日の当番児童に意識づける。</p>

⑥ 児童の決定

児童	道具の決定	材料の決定
④	ミキサー	パイナップル (缶詰)
⑤	ジューサー	リンゴ+ニンジン
⑥	しぼり器	みかん
⑦	しぼり器	みかん
⑧	ミキサー	桃 (缶詰)
⑨	ミキサー	桃 (缶詰)

3 考察

(1) 視覚的資料 (ジュースニュース) は、有効であったか。

ジュースニュースは、ジュースを作って飲んだ後すぐに作成するようにした。1杯のジュースにつき、1枚のジュースニュースを次のように作成した。

- 1) 材料の絵を貼る。
- 2) ジュースを飲んだ後の感想を書き込む。
- 3) 使った道具の写真を撮り、貼る。(後日)
- 4) ジュースを飲んでいる写真を撮り、貼る。(後日)

第3次までに、8種類のジュースを作ったため、8枚のジュースニュースができあがっていた。これを、第4次の学習の導入で視覚的資料として活用した。一枚一枚ジュースニュースをめくりながら、どんな味がしたか、どんな道具や材料を使用したかを振りかえっていった。

第4次の学習は、はじめてジュースを作って飲んでから約2週間経過していたが、ジュースニュー

スで振りかえることにより、どんなジュースだったのか思い出すことができたようだ。児童にとって、材料の絵や道具の写真が、ジュースを思い起こす主な手がかりとなったようである。また、「おいしかった」「すっぱかった」などの感想からも、より具体的な想起につながることができたようだ。さらに、ジュースを飲んでいる自分の写真から、ジュースを飲んだことの確認へと結びつけていくことができたようである。

特に印象深かったジュースに対しては、しばらくそのページのニュースを眺めていたり、そのページを開くと笑顔になったりする児童の様子も見られた。一つ一つのジュースの記録をとっておくことで、経験した多くのことが混乱することなく、明確なものとして児童に想起されたものと思われる。

(2) 結果をイメージして決定することができる学習であったか。

第4次における児童の様子は、次のようであった。

児④…ミキサーを使用して作るジュースを飲みたい、というイメージをもっていたようである。

材料は、パイナップルと桃の2種類の中から、考えて決定した。

児⑤…ドロドロとした感触のジュースは苦手であるため、さらっとしたジュースを飲みたいというイメージをもっていたようである。道具は、操作が楽しめるジューサーに決定した。

児⑥…しぼり器で作ったジュースを飲みたい、というイメージをもっていたようである。材料は2種類の中から、好みに応じて決定した。

児⑦…ドロドロとした感触のジュースは苦手であるため、さらっとしたジュースを飲みたいというイメージをもっていたようである。材料（みかん）から、道具（しぼり器）を決定した。

児⑧…ミキサーを使用して作るジュースを飲みたい、というイメージをもっていたようである。材料は、友だちが選んだものに誘発されて決定した。

児⑨…ドロドロとした感触のジュースを飲みたい、というイメージをもっていたようである。材料は、好みに応じて決定した。

児童の様子から、闇雲に道具と材料を決定したのではなく、ジュースの味や感触をイメージして、能動的に決定していたことがわかる。第3次までのジュース作りの経験から、児童がそれぞれのジュースに対するイメージを、明確にもつことができていた結果が導いた決定であったと思われる。